

階層	想定する対象者	求められる機能
第1段階 (新任職員)	新任職員 ○新卒入職後2年未満の職員 ○他業界から福祉職場へ入職後1年未満の職員	指導・指示を受け、安全な実践を行う ・指導・教育を受けつつ、担当業務を安全・的確に行う。 ・組織・職場の理念と目標を理解する。 ・担当業務に必要な制度や法令等を理解する。 ・組織内の人間関係を良好にする。 ・福祉の仕事を理解し、自己目標の設定に努める。 ・仕事から生じるストレスを理解し、対処方法を身につける。 ・福祉・介護サービス従事者としてのルール・マナーを順守する。
第2段階 (中堅職員)	一般職員(メンバー、スタッフ) ○入職後概ね3～5年程度の職員 ○担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員	サービス提供の中核人材(新任職員のロールモデル) ・組織の中での自分の役割を理解し、担当業務を遂行する。 ・職場の課題を発見し、チームの一員として課題の解決に努める。 ・地域資源の活用方法を理解する。 ・後輩を育てるという視点を持って、助言・指導を行う。 ・業務の遂行に必要な専門的知識・技術等の向上を図る。 ・職業人としての自分の将来像を設定し、具体化する。
第3段階 (指導的職員)	主任、係長、チームリーダー、リーダー ○主任・係長等に就いている職員 ○近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員	チーム活動の企画・指導・調整・評価等 ・チームのリーダーとして、メンバー間の信頼関係を築く。 ・チームの目標を立て、課題解決に取り組む。 ・上位者の業務を補佐・支援する。 ・当該分野の高度かつ適切な技術を身につけ、同僚・後輩に対してのモデルとしての役割を担う。 ・地域資源を活用して業務に取り組む。 ・教育指導者(スーパーバイザー)として、指導・育成等の役割を果たす。 ・研究活動や発表などを通じて知識・技術等の向上を図る。
第4段階 (管理職員)	施設長、管理者、部門管理者、課長 ○小規模事業管理者・部門管理者等に就いている職員 ○近い将来管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員	部門の責任者・熟練者・教育指導者 ・業務遂行責任者として、状況を適切に判断し、部門の業務を円滑に遂行する。 ・職員の育成と労務管理を通じて組織の強化を図る。 ・提供するサービスの質の維持・向上に努める。 ・他部門や地域の関係機関と連携・協働する。 ・教育研究プログラムを開発・実施・評価する。
第5段階 (上級管理者・経営者)	施設長、部長、役員、評議員 ○施設長等運営統括責任者に就いている職員 ○近い将来上級管理者の役割を担うことが想定される職員 ○理事・監事等の役員および評議員	事業所全体の統括者 ・運営統括責任者として、自組織の目標を設定し、計画を立てて遂行する。 ・必要な権限移譲を行い、部下の自主性を尊重して自律的な組織運営環境を整える。 ・人材育成、組織改革、法令遵守の徹底などを通じて、自組織を改善・向上させる。 ・自らの公益性を理解し、他機関や行政に働きかけ、連携・協働を通じて地域の福祉向上に貢献する。 ・所属する法人全体の経営の安定と改善に寄与する。